

(参考様式4)

事業所名 GH高田てらまち

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	人生の先輩として尊厳を持って寄り添っているが、忙しい時等、大きい声を出したり職員の技量や対応に差が出る。	今後は研修等を通して、職員一人ひとりのスキルを上げ、職員全員が利用者のプライバシーを守れる介護に努める。	まず、職員同士お互いを注意できる風通しの良い環境を普段から作る。施設内会議で利用者のプライバシーについて話し合いを持つ。	1ヶ月
2	5	職員は身体拘束を理解しているが、帰宅願望の強い方がいるため、玄関と居間の間の戸の鍵を職員の人数の少ない時間帯に施錠する時がある。	職員体制によりやむを得ない時があるが、職員で共有し工夫して身体拘束をしない介護に努めていきます。	社内の法令研修は年2回身体拘束高齢者虐待の研修を予定している。また、施設では年4回身体拘束の勉強会をしている。マンネリ化しない様に内容を変えて施設内会議にて落とし込み職員一人ひとりが理解できるようにする。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。